

# ちよつとしい話

## ～ 災 害 ～

昔は「地震・雷・火事・親父」と言われておりました。現在でも地震と火事や大型の台風などはその存在感がござい  
ます。中でも地震は人間の努力によって回避出来ません。ほとんどの場合突発的にやってきて多くの被害をもたらします。東南海地震が来る々と言われておられます。近年行政指導の下、各町内に地震等の災害マップがあり、各家庭に配布されています。地震の一報はTVやラジオの放送で国民に知らされる事になっています。数分前にしか分らない予知情報、はたしてその時、家にいて、TVやラジオのスイッチがONに入っているか、どうか問題です。我が家ではスイッチOFの時が多いのです。自分達でスイッチを入れる物に頼る考えは如何かと思ひます。そこで、私は普及をしている電話を使うのが一番良いと思ひます。と言ひますのも電話は常にスイッチがONに入っており、何方から掛かって来ても受ける取る準備が完了してます。それに又、今や携帯電話の普及は著しいものがあります。ですから、家に居ても可、外に居ても可と言ひ電話を使わない手は無いと思ひます。私は知識も智慧も持ち合わせていませませんが、一つ緊急回路を増やすだけで使用が可能になると思ひます。単に電話が我々国民への情報伝達に最も適しているのではないかと考へているだけです。特に多くの人間が集まる駅、学校、会社、病院等は独自の対策が取られている事だと思ひますが、心配なのは球場等の娯楽施設です。例えば、ジェットコースター（roller

coaster) に乗っていて、緊急停止した場所が逆さま状態にならんととも言えません。そんな時は救助に時間が掛かるでしょう。何分もその状態が続くとなれば頭部に血が上り大変でしょう。普通のトラブルならば一ヶ所ですみませんが、地震はそうはいきません。考えれば、密集した古い温泉地等怖い場所がたくさんあります。過去の震災でもガレキの下敷きに成ったり、身動き出来ずに生きたまま焼死してしまったり、この世の地獄絵図を目の当たりに見てきました。願わくは、三千大千世界の神様佛様、大難は少難に、少難は無難にして下さいと心から祈るのみです。寝覚めを以って生まれ、就寝を以って死とする、一日を一生として暮らし、明日かも知れぬ我が命、何時何処で迎える事になっても後悔しないですむ様に、日々の家庭生活を大切にすること、肝要なり。

ここで考えなければならぬのは何処に居ても自分の健康状態を平常に保つ事が出来る様にしなくてははいけません。花も咲かず、実もならず、香りも無く、鑑賞にも適せず、唯、嫌われる雑草が踏みつけられても、力強く生きて行く姿を我々は学ばねばなるまい。そして、やがて必ず来ると言う不慮の災害に打ち勝つ為に、最低でも自分の事は自分で対応出来る様にバランスのとれた肉体と精神を養う必要がある。今の世相を鑑みますと緊急事態が発生しても国民が力を合わせ助け合う事はまず望めないと思います。何が起きても運が良かったと喜び合えるように、日々の生活の中に、天地の恵みを感謝し、神佛に礼拝し、先祖の報恩を生かし、世の為、人の為に尽くし、陰徳を身に付け、仏徳兼備の人生行路を進んで行きましょう。必ずや、良かった良かったと、安堵する事でしょう。急急 善入院油掛地藏尊